

【大学間協定留学】留学報告書

記入日:2022年1月12日

所属学部／研究科・学科／専攻	情報コミュニケーション学部 / 情報コミュニケーション学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ネバダ大学リノ校 現地言語: 英語
留学期間	2021年8月～2021年12月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年1月 日
明治大学卒業予定年	2024年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月中旬～12月中旬 2学期:1月中旬～5月中旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	around 20,000
創立年	1874

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	3242	370000円	
食費	2480	283700円	
図書費	100	11000円	教科書代
学用品費	0	0円	
携帯・インターネット費	200	22000円	
現地交通費	0	0円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	2000	220000円	旅行代など
被服費	300	33000円	
医療費	250	28000円	pcr 検査費
保険費	1200	130000円	形態:明治大学のものとなバダ大学のもの
渡航旅費	2200	244300円	
ビザ申請費	160	18000円	
雑費	2000	22000円	授業料以外の雑費
その他	0	0円	
その他	0	0円	
合計	140032	1600000円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:羽田空港 目的地:リノタホ国際空港 経由地:ロサンゼルス 復路 出発地:ロサンゼルス 目的地:羽田空港 経由地:	
渡航費用	
①往復チケットを購入した場合 航空会社:JTB 料金:244,300	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:	
航空券購入方法	
<input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:JTB) <input type="checkbox"/> インターネット(サイト名:) <input type="checkbox"/> その他()	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Nye Hall) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 1)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
渡航前に大学からのアナウンスに従って8つくらいある寮の中から第3希望までを提出し、決定後、支払い。	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
オスメの寮や off campus のアパートメントを紹介できるので連絡してください!	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所:)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?	
犯罪に巻き込まれたことはありません。そして、夜は出歩かないようにしました。	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
寮、さらに校内では学校が用意した Wi-Fi は使い勝手が良かったです。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
日本の銀行口座をそのまま使っていました。現地では銀行口座は開設しませんでした。	
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。	
特になし	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ 特になし	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ENG113	イングリッシュ 113
科目設置学部・研究科	
履修期間	2021 Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 45 分が 3 回
担当教授	Maureen McBride
授業内容	留学生はこの授業か ENG112 を受講する必要があった。この授業では大きなエッセイプロジェクトを4つ行った。
試験・課題など	試験はなく、大きなプロジェクトを4つ行った。
感想を自由記入	だんだん難易度が上がっていく4つのプロジェクトをこなすことで、アカデミックなライティングのスキルがついたと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ANTH101	人類学入門
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	2021 Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義週二回・ディスカッション週一回(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Erin Stiles
授業内容	Culture について
試験・課題など	オンラインの試験 3 回とレポート課題一つ
感想を自由記入	この授業は毎週テキスト 20 ページを読まなければならない、そしてその内容もカルチャーについてで、非常に高次的で大変でした。 さらに、試験が記述式だったため概念や単語を深く理解しなければならない苦勞しました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
JOUR103	ジャーナリズム 103
科目設置学部・研究科	ジャーナリズム学部
履修期間	2021 Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Laura Crosswell
授業内容	ジャーナリズムの基礎について学ぶ。
試験・課題など	オンラインでの試験が 3 回ありました。また、映像制作のプロジェクトが2回ありました。
感想を自由記入	教科書を買ったのですが、授業では教科書を使用せず、先生独自のシラバスで進捗しました。そのため、授業にでてきちんと理解していないとテスト対策が難しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
JOUR107	ジャーナリズム 107
科目設置学部・研究科	ジャーナリズム学部
履修期間	2021 Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・Lab 形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 2 回と 160 分が 1 回
担当教授	Michael Felts
授業内容	ジャーナリズムについての講義と、週一回の Lab で実際にジャーナリストとしてライティングを行う授業でした。
試験・課題など	基本的に Lab で週一回の小課題がです。定期試験期間になると、その小課題が大きな課題になり、期末期間では期末試験として、オンラインでクイズがありました。
感想を自由記入	Lab 形式がメインだったので、フィールドワークが多く、非常に楽しかったです。160分の Lab も自分の宿題を終わらせれば早く帰れることがほとんどでした。ライティング力に加え、インタビューによってスピーキング力も上がるため、この授業は本当にお勧めです。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前,あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	選考・出願、IELTS 取得
	4月～7月	3 月奨学金申請、6 月ビザ申請・取得、6 月航空券購入、6 月から 7 月予防接種
	8月～9月	8 月留学開始
	10月～12月	12 月期末試験
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	(今回の留学はコロナの影響で、6 月に急遽結構となったのでスケジュール詰め 詰めとなっています)

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

ネバダ大学リノ校は本当にいいところです。少し田舎ではあるけれどキャンパスの規模が大きく、イベントもたくさんあり、カリフォルニアなどの観光地に近いので、飽きることがありません。授業の数も多く、自分の興味に合った物が選択できるので、非常に楽しいです。また、私が住んでいる Nye hall という寮は、フロアごとにラウンジがあり、そこで友達を作ることができたのでお勧めします。秋学期の 10 月頃ではほぼ毎週末アメフトの試合があったり、常に学校主催のイベントや地域のイベント、パーティーなど様々な娯楽で溢れています。私は当初、友達ができるか心配でしたが、必ず何かの機会のできるので不安に思う必要はありません。

また、私の代だけかもしれませんが、この大学は日本人留学生が少し多いと感じました。私は英語の上達のために日本人を避けるというようなことはしなかったのですが、ある日本人留学生が日本人を執拗に避けたりと不自然な行動をしたせいで人間関係にトラブルを抱えていました。留学期間が限られているので、そう行動する気持ちも理解はできますが、私は、そこまで気負わずに、流れに身を任せ、アメリカでの生活を楽しもう、という気楽な気持ちで留学生活を送ることをおすすめします。また、ネバダ大学リノ校はそこまで人気の留学先ではないかもしれませんが、私は自信を持って本当にいい大学だと言えます。何もかも綺麗だし、規模が大きく、明治に通っているみなさんきっと感動すると思うので、そのことをモチベーションに頑張ってください！

そして、大きな休みや留学期間終了後の期間を利用して、サクラメント、ロサンゼルス、ラスベガス、ニューヨークなどに旅行することができました。このことも人生において非常に貴重な経験となりました。英語が伝わらず、辛い思いをするかもしれませんが、楽しいことの方が多かったので、頑張ってください！